

このフォーラムは、公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団の助成を受けています。

認知症の人の 看取りを かんがえる フォーラム

2015

参加費●無料
定員●200名

主催 認知症の人のターミナル医療・ケア研究会
後援 彩星の会・NPO法人認知症ラボ

T e r m i n a l F o r u m 2 0 1 5

[東京都目黒区]

めぐろパーシモンホール 小ホール
14:00~16:30 [開場13:30]

2.27
Fri.

登壇者

宮永和夫
Miyanaga Kazuo
〔南魚沼市立ゆきぐに大和病院院長〕
西村美智代
Nishimura Michiko
〔社会福祉法人サン理事長〕

柴田範子
Shibata Noriko
〔NPO法人楽理事長〕

小澤芳子
Ozawa Yoshiko
〔山形県立保健医療大学看護学科教授〕

石黒秀喜
Ishiguro Hidenobu
〔長寿社会開発センター理事〕

認知症の人が最期をどこで迎えるか？
認知症の人の最期をどう支えるか？
さあ、一緒に考えましょう。

宮永和夫 [みやながかずお] ●●●群馬大学保健管理センター助教授、群馬県精神保健福祉センター所長などを経て、現在、南魚沼市立ゆきぐに大和病院院長ならびにNPO法人若年認知症サポートセンター理事長。専門は老年精神医学。著書に『若年認知症の臨床』『ステップ式認知症処方』（新興医学出版社）などがある。

西村美智代 [にしむらみちよ] ●●●社会福祉法人サン理事長、NPO法人生活介護ネットワーク理事長、ならびに埼玉県認知症グループホーム・小規模多機能協議会会長。現在、埼玉県ならびに東京都内にて複数のグループホーム・デイサービスを運営。日本老年医学会のガイドライン作成などにも携わっている。

柴田範子 [しばたのりこ] ●●●ホームヘルパーを12年間経験後、介護福祉士養成を担う教員に。2004年、NPO法人楽を設立。川崎駅前に認知症デイサービスひつじ雲（365日型・泊りあり）を開設。2008年、制度改正に合わせ、小規模多機能型居宅介護ひつじ雲に変更。同時に、認知症デイサービスくじら雲を区内に開設。

小澤芳子 [おざわよしこ] ●●●山形県立保健医療大学看護学科教授。老年看護学担当。授業に認知症の人および介護家族を講師に招いて、学生への理解を深める取り組みなどを行っている。主な研究テーマは「認知症を介護する価値」および「若年認知症を親に持つ子どもへの支援」など。

石黒秀喜 [いしぐろひでのぶ] ●●●厚生労働省で介護保険指導室長、大臣官房参事官を歴任した後、2008年退職。現在、一般財団法人長寿社会開発センター理事。義母の認知症の進行、寝たきり、胃ろうなどに遭遇したことを通じて、『上手に老いるための自己点検ノート』を出版。各地で“介護され上手”に関する市民講座の講師も務める。

FAX●044-330-1744
Mail●terminalken@gmail.com

お申込書

お名前 [ふりがな]

ご職業

ご連絡先電話番号

ご参加人数

名

Mailでお申し込みの場合、上記内容を明記のうえ、送信願います。

お申込みは先着順となります。

定員(200名)を超え、やむをえずお断りする場合のみ、ご連絡申し上げます。

参加証などは発行いたしません。当日、直接会場にお越しください。

ご記入いただいたお客様の個人情報、

当講演会の目的に限って使用させていただきます。

お問合せ

認知症の人のターミナル医療・ケア研究会

TEL090-6796-8989 [尾崎]

会場
MAP



▶ **めぐろパーシモンホール [小ホール]**
東京都目黒区八雲1-1-1
東急東横線・都立大学駅より徒歩7分

駐車場は駐車台数に限りがありますので、
ご来館には公共交通機関をご利用ください。